

方、コードごとに等価係数を作成するためのデータ件数を確保しデータの信頼性を高める必要がある。「手術」の等価係数作成にあたって、一定数でのデータ件数で足りなかった場合のKコード種類数、Kコード種類カバー率、実施件数カバー率を算定すると以下のとおりとなった。今後は「データ件数が4未満」の等価係数については採用しないこととし、データの信頼性を高める方針とする。

図表 4-2-2 足り基準とカバー率

足り基準	Kコード種類		実施件数	
	種類数	カバー率	件数	カバー率
足りなし	528	46.0%	41,453	89.1%
「データ件数が3未満」を足り	361	31.5%	41,422	89.0%
「データ件数が4未満」を足り	337	29.4%	41,350	88.9%
「データ件数が5未満」を足り	310	27.0%	41,242	88.6%
「データ件数が6未満」を足り	296	25.8%	41,172	88.5%
「データ件数が7未満」を足り	282	24.6%	41,088	88.3%
「データ件数が8未満」を足り	265	23.1%	40,969	88.0%

## ② 医師の経験年数・時給に関する検討

従来は、手術の等価係数算出時に使用する医師の時給は、実際に関わった医師の経験年数・時給、あるいは手術の難易度にかかわらず一定のものを用いていた。これについて、なるべく手術ごとのコストの実態を反映させる手法を検討した。

平成19年度の特種原価調査において、調査対象病院から、医師を経験年数別にランク付けをしてランクごとの時給を取得することを試みた。また「特種原価調査WG」にて、手術のコストに医師の時給や手術の難易度を反映させることについての妥当性を議論した。これらの検討の中で、「初期研修医、後期研修医、それ以後の専門医によって手術への貢献度合や時給が異なる」「研修医に係るコストについては、保険財源でカバーする前提は適切でない」「手術の難易度については診療科ごとに判断がわかる等、現時点で客観的な裏づけが無く、コスト計算に用いることは適切でない」等の意見が出た。これらの検討結果を踏まえ、今後の特種原価調査では以下の調査・算定方法についての改善が考えられる。

- 調査対象病院から、医師を「初期研修医」「初期研修医以外の経験年数5年未満の医師」「経験年数5年以上の医師」の3つに分けて、それぞれの投入量（人数、時間）、時給のデータの提出を受ける
- コストの算定にあたって「初期研修医」分はコストに算入しない。それ以外はそれぞれの時給単価を算出して投入量に乗じる

## ③ 1つの手術に複数のKコードが存在する場合の取扱い

1つの手術に対して複数のKコードが存在するものがある。現状は当該手術につけられたKコードの点数按分でコストを割り振っているが、相対的に点数の低いKコードに割り

振られるコストが非常に小さくなるケースがあり、このようなKコードの平均コストが過小に評価される恐れがあるため、以下のような改善策を検討した。

1つの手術に複数のKコードが存在する例の中には、輸血(K920)や創傷処理(K000)等が含まれるものが多い。そこでまず、これらのKコードについては除外する。除外した後も複数のKコードが存在する場合、診療報酬上で主たる手術に従たる手術(一つに限る)の50/100を合算することが認められている組合せは、請求における点数比で按分する。

上記のパターンに該当しない複数コードがついている手術の件数が全体に占める割合を確認し、割合が少なければ除外するなどの具体的な方法を検討する。また、これ以外に、例えば件数をカウントする時に、コストと同じ比率で按分する(50%、50%で按分した場合、それぞれ0.5件とする)等の方法も考えられる。

#### ④ 等価係数が存在しないサービスの推計方法

現在等価係数が存在しないサービスについては、等価係数が存在する類似サービスでの等価係数値に基づき、報酬点数を媒介にして推計する方法で算定しているが、当該サービスのコストのデータに基づいて算定する方が望ましいことから、算定に使用するコストデータが得られるか、得られたデータをどのように利用して推計するかについて検討した。なお、等価係数には「人件費」「材料費」の二種類があるが、現在のところ「材料費」等価係数については、取得データの制約から薬剤点数比や材料点数を等価係数の代替数値として用いているため、発生した全てのサービスについて算定が可能である。従って、以下には「人件費」等価係数に係る事項について記載する。

##### (a) 手術

現在、等価係数がないサービス種類数は、619種類(619種類/1,147種類)である。

手術の人件費に関する等価係数は、手術に関与した医師・看護師・医療技術員の人数、手術時間と、職種別の時給から算定している。個々の手術にかかる投入量(人数、時間)を調査したものとして、外科系学会社会保険委員会連合(外保連)の「手術等の難易度及び時間に係る調査」(平成16年11月1日～平成17年1月31日実施。以下「外保連調査」という。)がある。今回、外保連から提供を受けた上記調査のデータと部門別調査の特殊原価調査データとあわせて分析し、相互の補完可能性について検討した。(詳細は「(4)外保連調査との比較分析」参照)

##### (b) 検査

現在、等価係数がないサービス種類数は、69種類(69種類/212種類)である。

平成19年度の一般原価調査で標準的等価係数が存在した検査は、実施件数でみて99%、点数でみても99%とカバー率が十分高かったため、現時点ではこのままの推計方法で実施する。

##### (c) 画像診断

現在、等価係数がないサービス種類数は、5種類(5種類/17種類)である。

平成19年度の一般原価調査で標準的等価係数が存在した検査は、実施件数でみて100%、

点数でみても 97%とカバー率が十分高かったので、現時点ではこのままの推計方法で実施する。

#### (4) 外保連調査との比較分析

外科系学会社会保険委員会連合（外保連）が実施した「手術等の難易度及び時間に係る調査」（平成 16 年 11 月 1 日～平成 17 年 1 月 31 日実施）のデータと、部門別の特殊原価調査のデータとの分析を実施した<sup>(注)</sup>。なお、外保連は診療報酬改定の資料としての「外保連試算（手術・検査・処置）」を公開しているが、今回分析対象としたのはこの「外保連試算」ではなく、外保連が手術試算に関わるデータの精緻化のために実施した上記「手術等の難易度及び時間に係る調査」の結果である。この調査は手術に関する投入量（手術に関わる職員数や手術時間）について調査されたものであり、この調査結果と部門別調査の手術の等価係数（人件費）算定のための資源投入量（手術に関わる職員数や手術時間）のデータの両者を比較した。

<sup>(注)</sup> この分析は、本調査研究の調査委員会・作業委員会委員である山口委員（外保連会長）のご指導、外保連事務局のご協力により行ったものである。

##### ① 分析方法

###### (a) 分析対象

###### ■ 外保連「手術等の難易度及び時間に係る調査」（以下「外保連調査」という）

- 分析対象項目：手術医師数、手術看護師数、手術時間  
（平成 17 年 8 月 31 日 中央社会保険医療協議会 診療報酬基本問題小委員会（第 66 回）にて公表されたもの。調査項目には上記項目の他、技師数、麻酔時間が含まれているが、集計値は公表されていない）
- 調査対象施設：3,581 施設のうち 723 施設（20%）からの回答  
（723 施設：日本外科学会関連 603 施設、その他の学会関連 120 施設）

###### ■ 部門別調査研究 「特殊原価調査」

- 分析対象項目：手術医師数、手術看護師数、手術時間
- 調査対象施設：平成 16 年度及び平成 17 年度に特殊原価調査を実施した 13 病院＋平成 19 年度の平成 20 年 2 月末時点で特殊原価調査が終了していた 3 病院のデータを使用

###### (b) K コードの取扱い

K コード種類は、基本点数コード※の K コード（加算を除く）でみると 2,068 種類ある。外保連調査や部門別調査では、基本点数コードをグループ化している。外保連形式でのグループ化、部門別形式でのグループ化は異なっており、下記の通りとなっている。

※厚生労働省の Web ページで公開されている電子点数表の「基本点数テーブル」に基づいている。

<http://www.mhlw.go.jp/topics/2006/03/xls/01.xls>

図表 4-2-3 Kコードのグループ化方法（外保連形式・部門別形式）

	外保連形式	部門別形式																																																																																						
例 1	<table border="1"> <tr><td colspan="10">基本点数コード（10桁）</td></tr> <tr><td>1桁目</td><td>2桁目</td><td>3桁目</td><td>4桁目</td><td>5桁目</td><td>6桁目</td><td>7桁目</td><td>8桁目</td><td>9桁目</td><td>10桁目</td></tr> <tr><td>K</td><td>1</td><td>3</td><td>8</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>1桁目</td><td>2桁目</td><td>3桁目</td><td>4桁目</td><td>5桁目</td></tr> <tr><td>K</td><td>1</td><td>3</td><td>8</td><td>2</td></tr> </table>	基本点数コード（10桁）										1桁目	2桁目	3桁目	4桁目	5桁目	6桁目	7桁目	8桁目	9桁目	10桁目	K	1	3	8	0	0	0	2	0	0	1桁目	2桁目	3桁目	4桁目	5桁目	K	1	3	8	2	<table border="1"> <tr><td colspan="10">基本点数コード（10桁）</td></tr> <tr><td>1桁目</td><td>2桁目</td><td>3桁目</td><td>4桁目</td><td>5桁目</td><td>6桁目</td><td>7桁目</td><td>8桁目</td><td>9桁目</td><td>10桁目</td></tr> <tr><td>K</td><td>1</td><td>3</td><td>8</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>1桁目</td><td>2桁目</td><td>3桁目</td><td>4桁目</td></tr> <tr><td>K</td><td>1</td><td>3</td><td>8</td></tr> </table>	基本点数コード（10桁）										1桁目	2桁目	3桁目	4桁目	5桁目	6桁目	7桁目	8桁目	9桁目	10桁目	K	1	3	8	0	0	0	2	0	0	1桁目	2桁目	3桁目	4桁目	K	1	3	8								
基本点数コード（10桁）																																																																																								
1桁目	2桁目	3桁目	4桁目	5桁目	6桁目	7桁目	8桁目	9桁目	10桁目																																																																															
K	1	3	8	0	0	0	2	0	0																																																																															
1桁目	2桁目	3桁目	4桁目	5桁目																																																																																				
K	1	3	8	2																																																																																				
基本点数コード（10桁）																																																																																								
1桁目	2桁目	3桁目	4桁目	5桁目	6桁目	7桁目	8桁目	9桁目	10桁目																																																																															
K	1	3	8	0	0	0	2	0	0																																																																															
1桁目	2桁目	3桁目	4桁目																																																																																					
K	1	3	8																																																																																					
例 2	<table border="1"> <tr><td colspan="10">基本点数コード（10桁）</td></tr> <tr><td>1桁目</td><td>2桁目</td><td>3桁目</td><td>4桁目</td><td>5桁目</td><td>6桁目</td><td>7桁目</td><td>8桁目</td><td>9桁目</td><td>10桁目</td></tr> <tr><td>K</td><td>1</td><td>3</td><td>4</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>1桁目</td><td>2桁目</td><td>3桁目</td><td>4桁目</td><td>5桁目</td><td>6桁目</td><td>7桁目</td></tr> <tr><td>K</td><td>1</td><td>3</td><td>4</td><td>-</td><td>2</td><td>1</td></tr> </table>	基本点数コード（10桁）										1桁目	2桁目	3桁目	4桁目	5桁目	6桁目	7桁目	8桁目	9桁目	10桁目	K	1	3	4	2	0	0	1	0	0	1桁目	2桁目	3桁目	4桁目	5桁目	6桁目	7桁目	K	1	3	4	-	2	1	<table border="1"> <tr><td colspan="10">基本点数コード（10桁）</td></tr> <tr><td>1桁目</td><td>2桁目</td><td>3桁目</td><td>4桁目</td><td>5桁目</td><td>6桁目</td><td>7桁目</td><td>8桁目</td><td>9桁目</td><td>10桁目</td></tr> <tr><td>K</td><td>1</td><td>3</td><td>4</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>1桁目</td><td>2桁目</td><td>3桁目</td><td>4桁目</td><td>5桁目</td><td>6桁目</td></tr> <tr><td>K</td><td>1</td><td>3</td><td>4</td><td>-</td><td>2</td></tr> </table>	基本点数コード（10桁）										1桁目	2桁目	3桁目	4桁目	5桁目	6桁目	7桁目	8桁目	9桁目	10桁目	K	1	3	4	2	0	0	1	0	0	1桁目	2桁目	3桁目	4桁目	5桁目	6桁目	K	1	3	4	-	2
基本点数コード（10桁）																																																																																								
1桁目	2桁目	3桁目	4桁目	5桁目	6桁目	7桁目	8桁目	9桁目	10桁目																																																																															
K	1	3	4	2	0	0	1	0	0																																																																															
1桁目	2桁目	3桁目	4桁目	5桁目	6桁目	7桁目																																																																																		
K	1	3	4	-	2	1																																																																																		
基本点数コード（10桁）																																																																																								
1桁目	2桁目	3桁目	4桁目	5桁目	6桁目	7桁目	8桁目	9桁目	10桁目																																																																															
K	1	3	4	2	0	0	1	0	0																																																																															
1桁目	2桁目	3桁目	4桁目	5桁目	6桁目																																																																																			
K	1	3	4	-	2																																																																																			

図表 4-2-4 Kコードのグループ化方法（例）

基本点数コード	外保連形式	部門別形式
K134000100	K1341	K134
K134000200	K1342	K134
K134000300	K1343	K134
K134000400	K1344	K134
K134200100	K134-21	K134-2
K134200200	K134-22	K134-2
K135000000	K135	K135
K136000000	K136	K136
K137000000	K137	K137
K138000100	K1381	K138
K138000200	K1382	K138
K139000000	K139	K139
K140000000	K140	K140
K141000000	K141	K141
K141200000	K141-2	K141-2

（注）網掛け部分は、外保連形式と部門別形式でコードが違っているもの。